能と狂言

錬仙会

TESSENKAI

定期公演

能　俊寛（しゅんかん）　観世錬之丞

狂言　箕被（みかずき）　山本　則重

能　竹生島（ちくぶしま）　女体道者　鵜澤　久



2027年3月12日（金）

午後6時開演（午後5時30分開場）

会場　観世能楽堂

銕仙会定期公演〈3月〉

2027年3月12日(金)　午後6時開演

能　俊寛（しゅんかん）

重罪人の流刑地鬼界ヶ島。平家滅絶を企てた罪でこの地に流刑された俊寛、康頼、成経の三人がささやかな宴をしていると、そこへ平清盛の使いの者がやってくる。清盛の娘徳子の安産祈願のため、大赦が行われることになったのだ。康頼が赦免状を読み上げると、そこには康頼と成経、二人の名前。赦免に漏れた俊寛は驚き、激昂して、悲しみの感情を顕わにする。そして康頼と成経乗船のとき、俊寛は…。運命に翻弄される俊寛の孤独と悲嘆を描いた能。

シテ　俊寛　観世銕之丞
ツレ　平判官入道康頼　安藤　貴康
〃　丹波少将成経　小早川泰輝
ワキ　赦免使　宝生　常三
アイ　船頭　山本　則秀
笛　一噌　隆之
小鼓　大倉源次郎
大鼓　安福　光雄
地頭　浅井　文義

狂言　箕被（みかずき）

連歌狂の夫は明日の連歌会の世話役になったことを妻に告げ、準備をするよう言いつける。夫の道楽に耐えかねた妻は、暇をくれと言って離縁の印に箕をもらい被いて去るが、夫は妻の後ろ姿を見て発句を詠み…。

シテ　夫　山本　則重
アド　妻　山本凛太郎

〈休憩10分〉

能　竹生島（ちくぶしま）

女体
道者

竹生島参詣のため鳰（にお）の浦に着いた延喜帝の臣下一行は、老翁の釣船に便乗し、琵琶湖あたりの山々を尋ねつつ島に着く。ここは女人禁制の島なので同乗していた女が上陸するのを臣下が不審がると、島を守る弁才天は女体の神で男女隔てなく救済するのだといい、実は我らは神だと告げ、姿を消す。

やがて弁才天が姿を現わして舞を舞い、さらに龍神が湖上に出現して金銀珠玉を捧げ、奇瑞を見せる。

春うらうらな湖上に数々の神仏の奇瑞が展開する能。「女体」の小書は後シテが常の龍神から弁才天に代わる珍しい演出。山本東次郎作「道者」は2018年の初演より二度目の上演となる。

〈午後9時5分頃終演予定〉

前シテ　漁翁　鵜澤　久
後シテ　弁才天　鵜澤　洋太郎
前ツレ　蜑女　長山　桂三
後ツレ　龍神　舘田　善博
ワキ　臣下　寺本　雅一
アイ　道者(甲)　山本泰太郎
〃　〃(乙)　加藤　元
〃　〃(丙)　若松　隆
〃　〃(丁)　山本凛太郎
鮹ノ精
笛　栗林　祐輔
小鼓　鵜澤洋太郎
大鼓　亀井　広忠
太鼓　小寺眞佐人
地頭　片山九郎右衛門

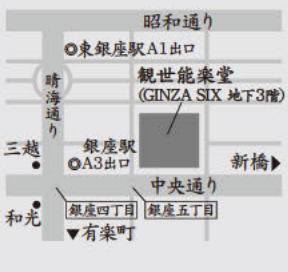
◎より詳しい解説を銕仙会ホームページにて順次公開しております。ご観能前に是非ご覧下さい。

※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。
※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。
※客席内でのご飲食はご遠慮下さい。

会　場：観世能楽堂（全席指定）
〈交通〉銀座駅（A3）徒歩2分
東銀座駅（A1）徒歩3分
有楽町駅（銀座出口）徒歩10分
〒104-0061
東京都中央区銀座6-10-1
GINZA SIX 地下3階
TEL 03-6274-6579
※併設の駐車場がございます。詳しくはGINZA SIXホームページにてご確認ください。

入場料：S席――7,000円
A席――6,000円
B席――5,000円
C席――4,500円
U25（25歳以下）2,700円





賛助会員　年間指定席／年9回
S会員――61,000円
A会員――53,000円
B会員――44,000円
C会員――40,000円
※賛助会員制度は1月より1年間同じ席でご覧頂くというものですが、随時入会も可能です。詳しくは銕仙会までお問い合わせ下さい。

回数券　定期公演・青山能共通　5枚綴り
一般回数券――22,000円
U25（25歳以下）回数券――10,000円
※2027年度の定期公演・青山能でご利用頂けます。ご予約受付中。詳しくは銕仙会（03-3401-2285）までお問い合わせ下さい。

お申込：カンフェティ
電話（平日10~17時）050-3092-0051
WEBサイト http://www.tessen.org
※お電話からは座席指定ができません。WEBよりお申込ください。
予約受付開始：2026年11月16日(月) 10時

銕仙会定期公演〈4月〉予告　会場：観世能楽堂

4月9日(金)　午後6時開演

能　生田敦盛（いくたあつもり）
一ノ谷で討死した平敦盛の霊とその遺児が賀茂明神の告げにより再会を果たす。　小早川　修

狂言　犬山伏（いぬやまぶし）
狸猛な犬を祈祷で大人しくさせるという勝負をすることになった僧と山伏は…。　三宅　右矩

能　六浦（むつら）
一面の紅葉の彩りの中に一本だけ紅葉せぬその謂れを語る楓の精の憤みと矜持。　鵜澤　光

銕仙会青山能〈4月〉予告　会場：銕仙会能楽研修所

4月25日(日)　午後1時30分開演

狂言　苞山伏（つとやまぶし）
他人の昼食を盗み食いした男は、それを近くで寝ている山伏のせいにするが…。　野村拳之介

能　歌占（うたうら）
領死した三日後に総白髪となって生き返った歌占の男とその子との親子再会劇。　観世　淳夫

写真　表面「俊寛」　八世観世銕之亟　撮影：吉越研